

平成 28 年 10 月 吉日

報道機関 各社 様

凍り豆腐の最新健康機能性研究に関する

記者会見のご案内

長野県凍豆腐工業協同組合
(こうや豆腐普及委員会)
理事長 登内 英雄

謹啓

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素は当組合の運営につきまして格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度新たに凍り豆腐の健康機能性に関する成果として、凍り豆腐が糖尿病の予防・改善に効果があることが示されましたので、内容について発表いたします。

つきましては、下記のとおり記者会見を開催しますので、ご多用中大変恐縮ですが、取材いただければ幸いです。

敬具

記

- 1 日時 : 平成 28 年 10 月 28 日 (金) 10 時 00 分～11 時 00 分
- 2 場所 : イイノホール 4F カンファレンスエリア Room C
東京都千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビルディング
- 3 内容 : 凍り豆腐の最新健康機能性研究の結果について
- 4 発表者 : こうや豆腐普及委員会
委員長 登内英雄
技術部門長 村澤久司 、 研究員 石黒貴寛
- 5 連絡先 : 長野県凍豆腐工業協同組合・全国凍豆腐工業協同組合連合会
(事務局) 長野市中御所岡田 131-10 長野県中小企業会館 5 階
TEL 026-227-6171 FAX 026-226-6695
専務理事 古畑洋一

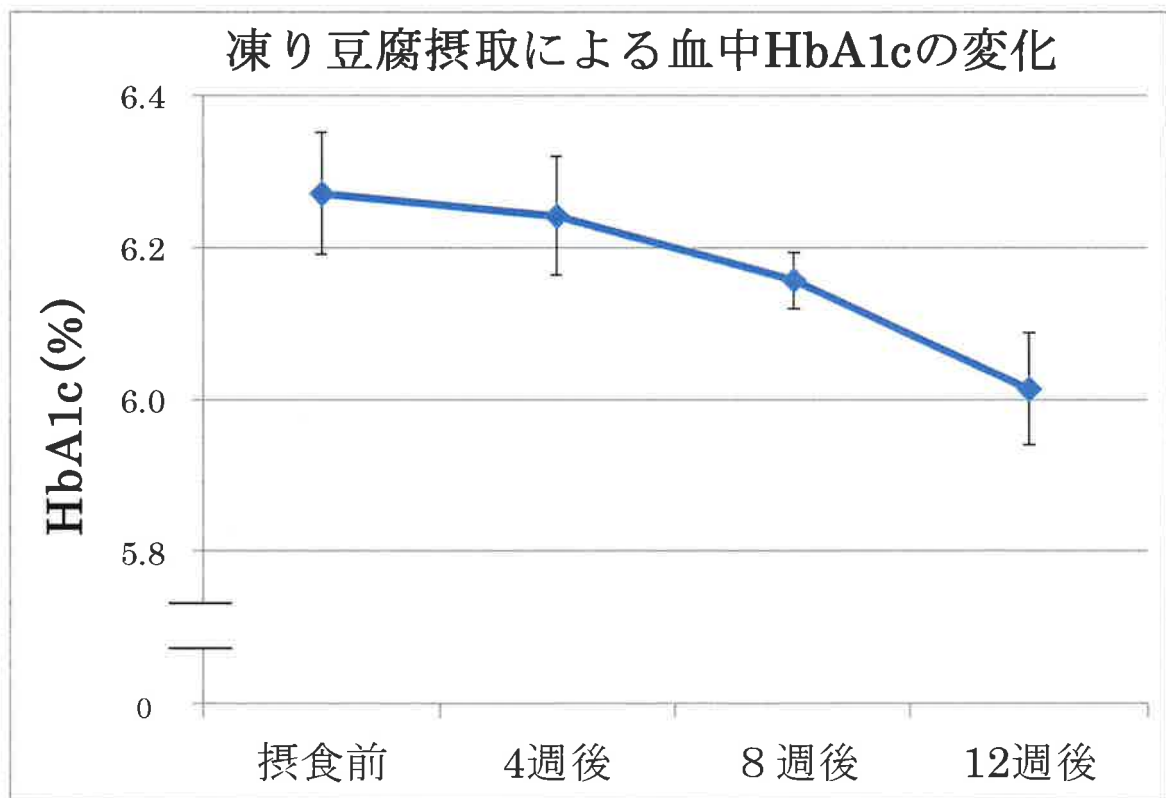
* なお、本会見に係る学術的、技術的な照会は村澤部門長へお願いいたします。
(照会先) 旭松食品(株) 研究所長 TEL 0265-26-6492

凍り豆腐で糖尿病予防効果を確認

これまで当委員会では、凍り豆腐の健康機能性について、凍り豆腐に含まれる成分「レジスタントタンパク」にスポットを当てて研究・発表してきました。レジスタントタンパクは、これまでコレステロール低下や食後中性脂質低下など脂質代謝改善効果について多くの研究例があります。それに加えて、この度の研究成果では糖質代謝（糖尿病）にも改善効果があることが示されました。

食品の摂取により HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー：糖尿病の指数）を下げる科学的な報告は少なく、大豆製品では初めての報告となり、今後の進展が注目されます。

つきましては、推定されるメカニズムを含め、今回発表いたします。



*健康な男女7名に凍り豆腐の調理品を1日当たり1枚分（乾物当たり16.5g）、3か月間摂取してもらい、その期間の血中HbA1cの変化を調べた。

※本研究を著した論文：Anti-diabetes Effect of Kori-tofu が Japanese Pharmacology & Therapeutics（薬理と治療） vol.44 no.9 2016 に掲載されました。